

(第3種郵便物認可)

CasaVilla 真地が受賞

2012グッドデザイン賞

(有)義空間設計工房一級建築士事務所(伊良波朝義所長)が設計したCasaVilla 真地が2012年度グッドデザイン賞を受賞した。

グッドデザイン賞は1957年に創設されたグッドデザイン商品選定制度を発端とするもので、公益財団法人日本デザイン振興会主催で「デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動」として展開されている。これまでの受賞件数はのべ38,000件以上にのぼる。沖縄県からはCasaVilla 真地の1件のみの受賞となった。

CasaVilla 真地は、那覇市真地の交差点部にある2棟から成る集合住宅で、2棟ともにRC造の地上4階建ての建物で、22戸の住戸と1戸の事務所が入居している。完成は2010年。グッドデザイン賞の選評では、2棟の間の動線「小道」スリッパアーチ、2棟の住戸棟のバルコニーと、先端に規則的に配置された沖縄特有の花ブロックによるスクリーンが直射日光と通風をコントロールする伝統的な「アマハジテラス」など、沖縄の風土が生み出した伝統的なデザインボキャブラリーを現代的

に再解釈し、積極的に取り入れたことが「沖縄ならではの集合住宅」として評価されている。CasaVilla 真地は2010年に第4回建築九州奨励作品(社)日本建築学会九州支部主催)、2011年には第9回沖縄建築大賞(社)沖縄県建築士会主催)を受賞している。

今回の受賞について、伊良波所長は「全国区での評

価は大変嬉しく、身が引き締まる思い。これからも沖縄の風景となる建築をつくり続けたい」と更なる作品作りへの意欲を見せた。

2012年度のグッドデザイン賞受賞結果はホームページ(<http://www.g-mat.korg/>)にて発表中。23日(25日までは東京ビッグサイトで受賞発表展グッドデザインエキシビジョンが開催され、CasaVilla 真地も出展される。最終日25日にはグッドデザイン特別賞の発表も行われる。



グッドデザイン賞に選ばれたCasaVilla 真地



花ブロックを配したスクリーンの様子



内部のアマハジテラスの様子